

対象者様への情報公開文書

「苫小牧市の後期高齢者の歯の喪失のリスク要因に関する研究」のご説明

はじめに

歯の喪失は、食事が思うように食べられず、栄養が柔らかい脂質や炭水化物に偏り、野菜などの食物繊維やビタミン不足につながります。こういう状況が続くと、フレイル（加齢によって身体的・精神的な機能が徐々に衰え、心身のストレスに弱くなった状態）や要介護状態につながります。成人での歯の喪失のリスク要因は、喫煙、飲酒、骨粗鬆症、ビタミン不足、経済状況などが言われています。しかし、日本では、後期高齢者に関する集団を対象とした疫学調査が少ないのが現状です。

今回、私たちは、過去に行われた苫小牧市の後期高齢者歯科健康診査事業のデータを用いて、苫小牧市の後期高齢者の歯の喪失のリスク要因を検討します。北海道の主要都市である苫小牧市の後期高齢者の歯の喪失のリスク要因を分析することで、北海道における市町村の歯科保健指導等の歯科保健施策に役立てられるのではないかと期待しています。

この研究は、札幌医科大学倫理委員会の審査を受けた上で札幌医科大学学長の承認を得て行われております。

対象となる方

平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月に苫小牧市で実施した後期高齢者歯科健康診査を受診した方です。

研究内容

北海道後期高齢者広域連合が電子データ化している後期高齢者歯科健康診査のデータを苫小牧市が提供を受け、個人情報を除いた形で当講座に提供していただき、そのデータをもとに、統計ソフトを用い、歯の喪失のある者とない者を比較して分析を行います。

この研究の対象者様への費用負担はありません。本研究は外部資金を使用しませんし、利益相反もありません。

＜解析に用いるデータ＞

性別、年齢、主訴、歯の状況、義歯の状況、咬合状態、口腔乾燥、粘膜の状況、口腔衛生状況、歯周組織の状況、喫煙習慣、歯磨き習慣などの歯科保健行動、発熱、体重減少など（但し、氏名、住所、電話番号は除く）。

対象者様の個人情報の管理について

本研究では、個人情報の漏洩を防ぐために、対象者様の個人を特定できる情報は削除した形で苫小牧市よりデータの提供を受け、札幌医科大学では個人情報を管理しない方針としており、本研究実施過程およびその結果の公表（学会発表や論文など）の際に、対象者様を特定できる情報は一切含まれません。

対象者様がこの研究にデータを提供したくない場合の処置について

平成 28 年 4 月から令和 4 年 3 月までの期間に、後期高齢者歯科健康診査を受けた方で、この研究にデータを提供したくない方は下記にお問い合わせください。ただし、札幌医科大学では個人情報を取り扱っておらず、どのデータが申し出て頂いた対象の方のデータかの判断ができないことから、個別にデータを取り除く対応は難しいことをご理解頂けますようお願い致します。

対象者様からの相談等への対応

対象者様からの求めに応じて、個人情報の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、対象者様は研究計画書、資料を入手及び閲覧ができます。これらについて相談等される場合には下記にご連絡ください。

研究期間 札幌医科大学学長の承認日から令和 15 年 3 月 31 日

研究結果の公表

学会および論文等で公表し、この結果は苫小牧市および北海道後期高齢者広域連合に報告します。

データの保管及び廃棄方法

データは、USBメモリに保存し、札幌医科大学医学部公衆衛生学講座の鍵のかかるロッカーに保管し、研究結果の最終公表後から10年間保存し廃棄します。

医学上の貢献

後期高齢者の歯の喪失のリスク要因が詳細に分かることにより、苫小牧市は後期高齢者のための健康施策が立てやすくなり、苫小牧市の皆様の健康増進や生活の質の向上につながることが期待されます。

問い合わせ先

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学医学部公衆衛生学講座

研究責任者 大西浩文

平日 TEL 011-611-2111 内線 27400

日曜・祝祭日・夜間 TEL 011-611-2111 内線 27400

または

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学医学部公衆衛生学講座

研究分担者 中山佳美

平日 TEL 011-611-2111 内線 27490